

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和5年度の10月～12月期の製造出荷数量は、県全体で337,000トンとなり、前年同期の325,000トンから増加しています。しかし、4月～12月の累計では832,000トンとなり、前年同期の865,000トンに比べ33,000トン減少し、前年比で96%となっています。1月～3月期が前年並みの出荷数量と仮定すると、県全体の製造量はついに100万トンを下回る見込みです。これは平成25年の実績155万トンから10年間で35%の市場縮小と製造数量の減少となり、各工場の運営維持に大きな影響を及ぼしています。

地区別では、上越地区が令和4年度に前年比31%減となり、今期も累計121,000トン（前年比103%）と回復せず低水準が続いています。中越地区は累計253,000トン（前年比96%）、下越地区は441,000トン（同96%）、佐渡地区は18,000トン（同91%）と、県内全域における市場縮小が製造数量に顕著に現れています。

原油価格は変わらず1バレル当たり約140ドルと高値安定で推移しており、為替市場も円安傾向が続いています。そのため、ストレートアスファルトや改質アスファルトなどの主要資材の価格は高騰したままです。各工場では原価上昇分を価格転嫁するために販売価格の改定に努めていますが、市場縮小の環境下で出荷量の確保を目指す競争が激しく、価格転嫁は非常に厳しい状況です。

今後、運送業の2024年問題により、アスファルトや石粉を運ぶタンクローリー、骨材を運搬するダンプトラックの不足が予測されており、原材料供給面や価格面において懸念を生じさせています。また、県内糸魚川地方で採掘される石粉の原材料枯渇により、採掘工場の操業停止が見込まれ、石粉の確保が困難になることが予想されます。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和5年度10月～12月期の出荷状況は、県計で12万8千tで前年同期と比べ11%の増となった。地区別でみると東部地区が7万3千tで14%の増。西部地区が5万5千tで8%の増となった。

今後も主要材料であるアスファルト価格は原油の高騰、円安による伴い価格上昇傾向が予想される。

石川県

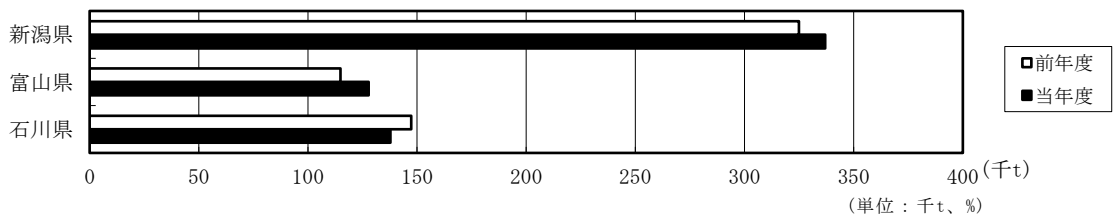
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和5年度10月～12月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比5.5%減、能登地区で前年比10.2%減、石川県全体では前年比6.1%減と昨年同時期に比べ加賀地区は減、能登地区も減、石川県全体としても出荷量は減少した。

主要材料であるアスファルト価格は、相変わらずの不透明感があり、為替相場も引き続き不安要素が多く余談を許さない状況。

またアスファルト関連の物件については、今年1月の能登半島地震により石川県内、特に能登地区で多くの道路が破損、損壊という状況になり、現在復旧工事が迅速に行われている。今後数年間、復旧工事は続いていく見込みであるが、どのような工事日程になるかは不透明である。

アスファルト合材出荷量の推移(10月～12月期)



県	地区	令和4年度	令和5年度				
		年計	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上越	▲31	▲8	0	18		3
		130	36	38	47		121
	中越	5	4	▲5	▲10		▲5
		289	70	87	96		253
	下越	11	▲2	▲20	8		▲4
		582	122	132	186		440
佐渡	14	▲29	▲29	33		▲10	
県計	24	5	5	8		18	
富山県	東部	2	▲2	▲13	4		▲4
		1,025	233	262	337		832
	西部	▲16	▲14	▲17	14		▲6
		242	57	62	73		191
県計	▲11	▲2	▲9	8		▲1	
	176	44	45	55		145	
石川県	加賀	▲14	▲9	▲14	11		▲4
		418	101	107	128		336
	能登	9	▲3	▲7	▲6		▲5
		388	81	93	110		284
県計	1	34	20	▲10		17	
	88	22	34	28		84	
県計	5	3	▲3	▲6		▲1	
	476	103	127	138		368	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（10月～12月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和4年度 年計	令和5年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲31 4.6	▲8 1.3	0 1.3	18 1.6		3 4.2
	中越	5 10.1	4 2.5	▲5 3.0	▲10 3.4		▲5 8.9
	下越	11 20.4	▲2 4.3	▲20 4.6	8 6.5		▲4 15.4
	佐渡	14 0.8	▲29 0.2	▲29 0.2	33 0.3		▲10 0.6
	県計	2 35.9	▲2 8.2	▲13 9.2	4 11.8		▲4 29.1
富山県	東部	▲16 8.5	▲14 2.0	▲17 2.2	14 2.5		▲6 6.7
	西部	▲11 6.2	▲2 1.5	▲9 1.6	8 1.9		▲1 5.1
	県計	▲14 14.6	▲9 3.5	▲14 3.7	11 4.5		▲4 11.8
石川県	加賀	9 13.6	▲3 2.8	▲7 3.3	▲6 3.8		▲5 10.0
	能登	1 3.1	34 0.8	20 1.2	▲10 1.0		17 2.9
	県計	5 16.7	3 3.6	▲3 4.5	▲6 4.8		▲1 12.9

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量(千t) = アスファルト合材量(千t) × 3.5%」